

新たな警戒度レベルについて

< 現行 >

			警戒度レベル					
			レベル4 避けたいレベル	レベル3 対策を強化すべきレベル	レベル2 警戒を強化すべきレベル	レベル1 維持すべきレベル	レベル0 感染者ゼロレベル	
			緊急事態措置	まん延防止等重点措置		感染拡大期 感染収縮期		
医療提供体制等の負荷	病床のひっ迫具合	病床利用率	状況をみて判断	50%以上	20%以上	20%未満		新規感染者数ゼロを維持
		病床使用数予測		3週後 確保病床超	4週後 確保病床の6割超	—		
重症病床利用率	50%以上	20%以上		20%未満				
監視体制	検査陽性率(直近1週間)	10%以上		5%以上	5%未満			
感染の状況	人口10万人あたりの新規感染者数(直近1週間)	25人以上 ※実数:484人以上	15人以上 ※実数:291人以上	15人未満 ※実数:291人未満				

感染拡大・収縮の判断	新規感染者数の直近1週間と先週1週間の比較
------------	-----------------------



< 新レベル分類 >

	警戒度レベル			
	レベル4 医療機能不全期	レベル3 医療負荷増大期	レベル2 感染拡大初期	レベル1 感染小康期
	医療非常事態宣言		医療ひっ迫防止対策強化宣言	
病床利用率	80%超	50%超	30%~50%	30%未満
重症病床利用率	80%超	50%超	—	—
新規感染者数	通常医療も含めた外来医療全体がひっ迫し、機能不全に陥るなど 想定を超える膨大な数	発熱外来や救急外来に多くの患者が殺到するなど 医療の負荷を増大させる数	発熱外来の患者数が急増するなど 医療の負荷が懸念される数	外来・入院医療ともに負荷が小さい状態が継続するなど 低位か、徐々に増加
新規感染者数の直近1週間と先週1週間の比較		【参考:第7波最大】 966.7人(実数18,688人)		

レベルについてはこの他「医療従事者の欠勤状況」「救急医療のひっ迫状況」「発熱外来のひっ迫状況」等も鑑み総合的に判断